

| | | | |
|----------------|--|------|---|
| グループ名 ・代表者名 | 一般社団法人 グリーンピース・ジャパン 佐藤 潤一 | 助成金額 | 300 万円 2011 年度 100 万円＋ 2012 年度 200 万円 |
| 連絡先など | 03-5338-9800, 03-5338-9802 金繁 典子, コリステーションナオミ | | |
| 助成のテーマ | 原発フリーの夏プロジェクト 原発再稼働問題の焦点となっている関西電力大飯原発周辺自治体への緊急キャンペーン | | |

【取り組みの概要】(調査研究・研修のねらい・手法・成果など)

原発の再稼働を阻止する。54 基すべての原発を年間で最大の電気需要ピークである夏が過ぎるまで停止させる。まずは、再稼働のプロセスが一番早く進んでいる大飯原発の 3 月中の再稼働を阻止し、4 月以降も再稼働できない世論を作る。大飯原発に関して福井の「地元合意」をさせない。県が強引に「地元合意」を取り付けることができない体制を作る。

原発立地県と周辺自治体の住民の安全性が担保されないまま「再稼働容認」ということにならないよう、再稼働が危ぶまれる地域(まずは大飯原発のある福井)へ臨時事務所を設けて地方議会開催中、地元住民、NGO と連携して、議会傍聴し、その審議で再稼働についてどのように話し合われているか全国へ発信、議員へのロビー活動、メディアへの働きかけなどを行う。

また著名人の参加を得て、再稼働議論への注目を高め、リアルタイムでウェブやメディアをとおして日本だけではなく、世界中に発信する。これにより福井と周辺住民、地方議員が原発はいらないという声を上げやすい環境を構築する。さらに大飯原子力発電所から周囲 50 キロメートルの範囲で、新聞への折り込みチラシを封入し原発のリスクを知らせ、地元自治体の首長に再稼働反対の声を届けられる仕組みを作ったり、福井県内の市民が再稼働についてどう思っているのか世論調査も実施する。

以上の活動によって、

- ① 政府の説明が無責任で信頼できないことを、福井の議員、記者、市民に、広く知らせる。
- ② 地元の同意を得るには十分な情報と時間と情報が必要だが、政府は地元住民に情報を公開しないまま、時間も与えず慌てて再稼働させようとしている構図を、福井の議員、記者、市民に、知らせる。
- ③ 福井隣接県がその意見も反映するよう求めていることを、全国の議員、記者、市民に、知らせて市民が行動に移すように働きかける。

活動の成果として、

- ① 「原発フリーの初夏」2 カ月達成(5 月、6 月の 2 カ月間、原発が全国で 1 基も動いていない状態に)
- ② 地元住民が十分な情報も得られず、同意もしていない状態で再稼働が強行されようとしている状態を全国に発信
- ③ 隣接府県住民の意見反映がされていないことに注目を集め、市民の声によって隣接県の知事や議会が再稼働に懸念を表明。福井では地元で原発反対を長年訴えてきたベテラン層と若者をつなげ、地元若者が毎週県庁前で抗議行動を実施している

【実施の経過】(取り組みの具体的な経過：主要な出来事のみ)

2011 年 2 月：「福井アクションセンター」を福井県庁近くに開設、地元の方と福井県議会での原発議論の動向を調査

3 月～5 月：SPEED I データ公開を求め政府・自治体へ働きかけ

3 月：ドイツから講師を招きドイツ事例を紹介

3 月：大飯原発近くから紙風船を放ち、放射能漏れ事故が起きた際の影響を調査

4 月：福井県民が出演するユーストリーム番組を複数回放送、また福井の若者らを東京に招いて講演会を開催

4 月末：「福井アクションセンター」現地事務所を閉鎖、引き続き東京から活動継続

5 月～6 月：福井県の原子力安全専門委員会を傍聴し、委員の発言内容を発信

問題となっている場所の地図あるいは写真など(あれば)



【今後の展望など】

・できる限り早期の原発ゼロを実現するため、政策や投資が原発から省エネと自然エネルギー推進に向かうよう、国内外で働きかける。原発への資金の流れを断つ。

| 会計報告書の概要 (金額単位：千円) | | | 充当した資金の内訳 | | |
|--------------------|--|----------|-----------------|---------------|---------|
| 支出費目 | 内 訳 | 支出金額 | 高木基金の 助成金を充当 | 他の助成金 等を充当 | 自己資金 |
| 旅費 | 常駐スタッフ (東京<=>福井往復) | 270千円 | 71千円 | | 200千円 |
| | ボランティア (東京<=>福井往復) | 240千円 | 63千円 | | 177千円 |
| | スタッフ臨時 (東京<=>福井往復) | 240千円 | 63千円 | | 177千円 |
| | 現地での交通費 | 60千円 | 16千円 | 0 | 44千円 |
| | スタッフ、ボランティア宿泊費 | 600千円 | 157千円 | | 443千円 |
| | 食費および雑費 | 88千円 | 23千円 | | 65千円 |
| 資料費 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 機材・備品費 | 設備費 | 500千円 | 130千円 | | 370千円 |
| | 議会傍聴調査関連費 (ストップウォッチ、巨大ストップウォッチレンタル、バナー、フライヤー他) | 300千円 | 78千円 | 0 | 222千円 |
| | 風船調査関連費 (GPS、風船、フライヤー他) | 800千円 | 209千円 | | 591千円 |
| | 予備 (その他調査に係る緊急の経費) | 500千円 | 130千円 | | 370千円 |
| 会議費 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 印刷費 | 自然エネルギー講演会 (ドイツエネルギー専門家) の福井新聞、県民福井折込チラシ | 2,500千円 | 652千円 | | 1,848千円 |
| | 国際レポート発行"Lesson from Fukushima" | 1,000千円 | 261千円 | 0 | 739千円 |
| | その他コピー費 (緊急の場合の印刷費) | 170千円 | 44千円 | | 126千円 |
| 協力者謝礼など | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人件費 | キャンペーンマネージャー | 348千円 | 91千円 | | 257千円 |
| | キャンペーンコーディネーター | 472千円 | 123千円 | | 349千円 |
| | エネルギー問題担当キャンペーナー 1 | 361千円 | 94千円 | | 267千円 |
| | エネルギー問題担当キャンペーナー 2 | 425千円 | 111千円 | | 314千円 |
| | キャンペーナー (パート) | 58千円 | 15千円 | 0 | 43千円 |
| | ロジスティック担当 | 361千円 | 94千円 | | 267千円 |
| | ボランティア・コーディネーター | 353千円 | 92千円 | | 260千円 |
| | 広報担当 | 288千円 | 75千円 | | 213千円 |
| | メディア担当 | 386千円 | 101千円 | | 285千円 |
| 外部委託費 | フォトグラファー | 180千円 | 47千円 | | 133千円 |
| | グラフィックデザイナー | 150千円 | 39千円 | 0 | 111千円 |
| その他 | アクションセンター賃借費 (ホテル会議室) | 500千円 | 130千円 | | 370千円 |
| | 文具、その他雑費 | 350千円 | 91千円 | 0 | 259千円 |
| 合 計 | | 11,500千円 | 3,000千円 | 0 | 8,500千円 |

参考文献 (ウェブサイトや書籍、成果物など)

- ・ 福井アクションセンターのウェブページ <http://www.greenpeace.org/japan/ja/campaign/fukui/>
- ・ レポート「Lessons from Fukushima」

http://www.greenpeace.org/japan/ja/library/publication/lessons_from_fukushima/

- ・ 大飯原発再稼働に対する住民意識調査まとめ (福井、大阪、滋賀、京都、福島)

<http://www.greenpeace.org/japan/ja/campaign/nonuke/survey/>

- ・ SPPDIについて (ページの一番最後に記事一覧があります)

<http://www.greenpeace.org/japan/ja/news/blog/dblog/speedi/blog/40488/>

県議会での原発議論の動向を調査

「再稼働ストップウォッチ」プロジェクト

- 地元の方と共に、福井県議会3月定例会のすべての本会議と委員会を傍聴。原発や再稼働に関連した内容、公開性について調査。福井県議会史上初、傍聴席が満員に。

| 内容 | 公開性 | 総合評価合計 |
|--------------|--------------|---------------|
| 16点 (50点満点中) | 22点 (50点満点中) | 38点 (100点満点中) |

今県議会全体に占める 原発の議論



- 原発について話された時間 (15時間44分)
- 議会全体 (56時間28分)



GREENPEACE

www.greenpeace.org/japan

ドイツの脱原発・自然エネ事例を紹介



- ・ 議員、市民、メディアに事例紹介



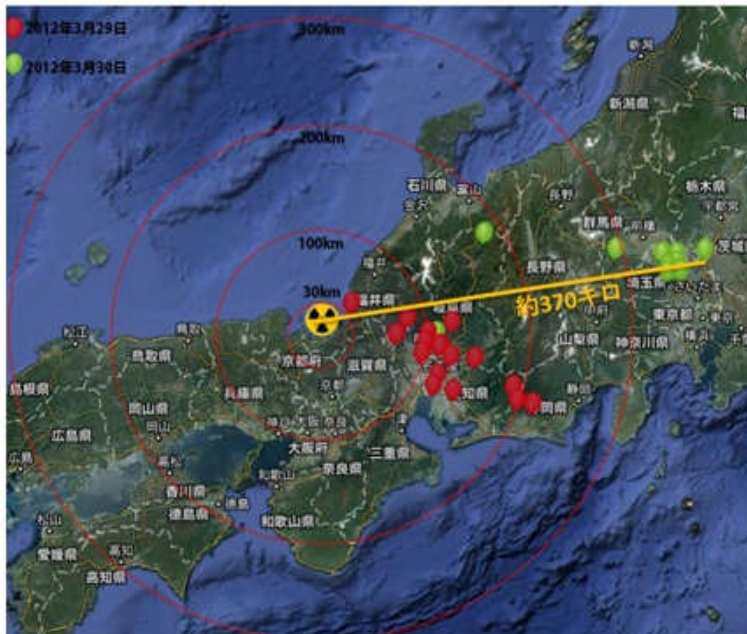
GREENPEACE

www.greenpeace.org/japan

紙風船による放射能拡散予測調査

2. 放射性物質拡散予測調査: 調査結果

風船飛行時間: 4~5時間



| | 3/29 | 3/30 | 合計 |
|---------|------|------|----|
| 落下地点情報数 | | | |
| 19 | 12 | 31 | |
| 福井県 | | | |
| 1 | 0 | 1 | |
| 岐阜県 | | | |
| 4 | 1 | 5 | |
| 愛知県 | | | |
| 11 | 1 | 12 | |
| 静岡県 | | | |
| 3 | 0 | 3 | |
| 群馬県 | | | |
| 0 | 1 | 1 | |
| 埼玉県 | | | |
| 0 | 9 | 9 | |

GREENPEACE

www.greenpeace.org/japan

放射能拡散の情報公開請求

政府・自治体への働きかけ:

- SPEEDIによるシミュレーション実施・公開を
- 拡散予測にもとづく避難計画策定を



GREENPEACE

www.greenpeace.org/japan